

2月 2-8日

イザヤ 30-32章

8番の歌と祈り | 開会の言葉 (1分) 伊藤勇一 | 長谷川貴史

神の言葉の宝



1. エホバの翼の下に避難する (10分) 田中克彦

親鳥が捕食動物からひなを守るように、エホバはご自分に仕える人たちを守る。(イザ 31:5。塔研 01.11/15.16 ページ 7 節)

エホバは仲間を通してあなたを支えるので、仲間との強い絆を保つのは大切。(イザ 32:1, 2。塔研 24.01.24 ページ 13 節)

エホバが与えてくれた希望を思い巡らして力にする。(イザ 32:16-18。塔研 23.10.17 ページ 19 節)

2. 宝石を探し出す (10分) 米山英行

イザ 30:20 エホバはあなたたちに苦難というパンを食べさせ、圧迫という水を飲ませる。とはいえ、あなたの偉大な教師はもはや姿を隠さず、あなたは自分の目で偉大な教師を見る。

「苦難というパンを食べさせ、圧迫という水を飲ませる」とはどういう意味だったか。

(洞「パン、I」7節) 比喩的な用法 聖書で用いられている「パン」という語には幾通りかの比喩的な使い方があります。例えば、ヨシュアとカレブは集合したイスラエル人にカナンの住民が「わたしたちのパンとなる」と告げましたが、これは彼らを容易に征服することができ、その経験がイスラエルを支える、もしくは強めることになるという意味のようです。(民 14:9) イスラエルの牧者であられるエホバについて、「あなたは彼らに涙のパンを食べさせました」と言われている詩編 80 編 5 節は、神の不興を買うことと関係があるかもしれない深い悲しみを反映させているように思えます。エホバはご自分の民に「苦難という形のパンと、虐げという形の水」を与えるとも述べられていますが、これは彼らが攻囲のもとで経験する状態に言及しているようです。その状態はパンや水のように彼らにとってごくありふれたものとなるのです。—イザ 30:20。

今週の範囲からどんな宝石を見つけたか。(32:8)の惜しみなく与える人は、物惜しみせずに与え続ける。の与えの脚注には「高潔な事柄を行い」となっていて、野外奉仕に適用できることが分かる。与えることで得られる幸福の中でも宣教は最大の幸福を見出せる機会となる。人々に仕える奉仕とはいえ一番祝福を受けるのは伝道者であることを忘れないようにしたい。

3. 聖書朗読 (4分) イザ 31:1-9 (教励 第 10 課) 阿部直生

野外奉仕に励む

4. 会話を始める 布川志津 愛込 2-5 大谷桜

(4分) 日常生活で。相手が最近起きた出来事についての不安を口にする。 ([愛込 レッスン2 ポイント5](#))

5. 会話を始める 伊藤本子 愛込 5-5 長谷川裕美子

(4分) 家から家で。 ([愛込 レッスン5 ポイント5](#))

6. 再び話し合う 小島千晴 愛込 7-3 安齋恵理

(4分) 家から家で。聖書レッスンを勧める。 ([愛込 レッスン7 ポイント3](#))

クリスチャンとして生活する

157 番の歌

7. 「真の正しさは平和をもたら[す]」 (抜粋) (15分) 討議。 有田悟

[動画を再生する](#)。次の質問をする。

- ・この動画から真の正しさについてどんなことを学びましたか。

([イザ 32:17](#) 真の正しさは平和をもたらし、絶えることのない平穏と安心を生み出す。)

- ・平和を望むなら正しさを追い求めなければならない。正しくない人に神との平和はなく、これは普遍の真理。
- ・神は愛であられ、その教えは私たちのためなので、注意を払うなら平和を得られる。
- ・[イザ 48:17,18](#) の聖句は不完全な人間であっても、平和を得、神から正しいと見ていただけるということを保証。
- ・真の神と共に歩んだ正しい人ノアには平和がもたらされた。

8. 会衆の聖書研究 (30分) 大 レッスン 58-59 田中慶一 | 滝秀貞

閉会の言葉 (3分) | [133 番の歌](#)と祈り 大谷正

^ ([イザ 30:1-32:20](#)) エホバはこう宣言する。「強情な子たちには災いがある。彼らは、私が立てたのではない計画を実行し、私の聖なる力に導かれることなく同盟を結び*、罪を重ねる。2 私に助言を求めずにエジプトに行き、ファラオの保護の下に*身を潜め、エジプトの陰に避難する。3 ファラオに保護を求めたことはあなたたちの恥となり、エジプトの陰に避難したことは恥辱となる。4 高官たちはツォアンにおり、使節はハネスに着いた。5 皆が、全く役に立たない民のせいで恥をかく。その民は何の助けにも、ためにもならず、恥と不名誉をもたらすだけである」。6 南にいる動物に対する宣告。苦難と困難の土地、ほえるライオンがいる土地、毒蛇や飛び掛かる火のような蛇*がいる土地を通り、人々は財産をロバの背に載せ、物資をラクダのこぶに載せて運ぶ。しかし、それらは民の役に立たない。7 エジプトは何の助けにもならない。それで私はこの者を、「じっと座るラハブ*」と呼んだ。8 「さあ、行って、民の前でこれを書き板に書き、書に記しなさい。それが将来、不変の証しとなるように。9 彼らは反逆的な民、人を欺く子たち、エホバの律法*を聞こうとしない子たちである。10 予見者たちに向かって『予見するな』と言い、幻を伝える者たちに向かってこう言う。『真実の幻を伝えるな。気分が良くなることを話せ。人を惑わす幻影を見ろ。11 道からそれ、進路から外れる。もうイスラエルの聖なる方について話すな』」。12 そのため、イスラエルの聖なる方はこう言う。「あなたたちがこの言